

令和 2 年度 事業報告

令和 2 年度において実施した事業については、次のとおりである。

第 1 概 要

1 健康診断事業の推進

令和 2 年度当初からの新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、各種健診事業においては感染症対策（定員数の減少、マスク着用、手指消毒、検温など）を徹底するとともに、市町村及び事業所等と連携を図って健診事業を実施したが、健診日程の延期、中止が相次いだことから特に住民健診については、約 20% の受診者数減少となった。その結果、住民健診・事業所健診事業について、特定健康診査、定期健康診断、協会けんぽ健診及びドック健診の実施数が、前年度比約 8.9% にあたる 13,880 人減少の 141,382 人の実施となり、各種がん検診についても、受診控え等により受診者数が、すべてのがん検診で大幅な減少となり、がん検診全体で前年度比約 9.2% にあたる延人数 46,464 人減少の 456,829 人の実施となった。

また、青森県から受託し平成 29 年度から 3 ヶ年実施した大腸がん検診モデル事業については、希望する 3 市町（十和田市、五戸町、南部町）から委託を受け、大腸がん検診未受診者を対象に便潜血検査を 2,763 人に勧奨したところ、20.7% にあたる 571 人の実施となった。検査の結果、要精検者は 32 人（5.6%）となり、令和 3 年度についても各市町村の希望により実施することとした。

2 普及啓発事業の強化

コロナ禍の中にあっても受診率の向上強化のため、40 市町村中、申込のあった 33 市町村に受診勧奨パンフレットを 155,000 部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所等に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを 14,000 部作成し配布した。その他、RAB まつり等さまざまなイベントへの参加を計画をしていたが、コロナ禍の継続・拡大に伴い殆どが中止に追い込まれた。

第2 通常事業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度と比較し、新型コロナウイルス感染拡大により特定健診及び各種がん検診等の受診が大幅に減少したことにより、全体では62,218人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が754人の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	令和2年度	令和元年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査	49,390	60,832	△ 11,442	
2 定期健康診断	67,293	69,432	△ 2,139	
3 人間ドック健診	5,821	5,775	46	
4 協会けんぽ健診	18,878	19,223	△ 345	
特定健康診査等 計	141,382	155,262	△ 13,880	
5 結核検診	141,037	147,422	△ 6,385	
6 肺がん検診	79,583	88,851	△ 9,268	
7 胃がん検診	66,879	77,444	△ 10,565	
8 大腸がん検診	94,806	104,053	△ 9,247	
9 子宮がん検診	35,144	39,168	△ 4,024	
10 乳がん検診	20,691	24,540	△ 3,849	
11 前立腺がん検診	18,689	21,815	△ 3,126	
12 学校心臓検診(心電図検査)	10,391	10,324	67	
13 骨密度測定検診	7,899	9,680	△ 1,781	
14 腹部超音波健診	11,502	11,463	39	
15 特定保健指導	2,177	2,376	△ 199	
がん検診等 計	488,798	537,136	△ 48,338	
16 細胞診受託検査	25,452	26,206	△ 754	
受託検査等 計	25,452	26,206	△ 754	
総延人数	655,632	718,604	△ 62,972	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 49,390人で、そのうち要精検は 10,199人（20.6%）、医療継続は30,463人（61.7%）、要指導8,029人（16.3%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	41,967	8,333	19.9	26,828	63.9	6,325	15.1	551	76
	社保等	2,884	682	23.6	1,336	46.3	752	26.1		5
センター	市町村	3,555	954	26.8	1,974	55.5	592	16.7	69	52
	社保等	796	181	22.7	256	32.2	294	36.9	233	3
健管センター	社保等	188	49	26.1	69	36.7	66	35.1	106	2
合計		49,390	10,199	20.6	30,463	61.7	8,029	16.3	959	52

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで12,719人、Cコースで 44,552人、その他のコースで 10,022人の計67,293人が受診し、受診者の23.2%に当たる 15,636人が要精検となり、39.5%に当たる26,598人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査)

その他のコース 簡易健康診断等

定期健康診断実施状況

方式別	年				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	9,012	29,757	8,926	47,695	11,220	23.5	18,213	38.2	663	72
センター	1,964	9,165	859	11,988	2,644	22.1	5,017	41.9	231	52
健康管理センター	1,743	5,630	237	7,610	1,772	23.3	3,368	44.3	332	23
合計	12,719	44,552	10,022	67,293	15,636	23.2	26,598	39.5	1,226	55

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 541人より22人増加の 563人に実施し、35.2%に当る198人が要精検となり、26.6%に当る 150人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 3,901人より64人増加の3,965人に実施し、35.8%に当る 1,418人が要精検となり、23.8%に当る943人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 103人より6人増加の 109人に実施し、36.7%に当る40人が要精検となり、13.8%に当る 15人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,230人より46人減少の 1,184人に実施し、33.8%に当る 400人が要精検となり、18.7%に当る 221人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	5,234	557	5,791
胃がん検診	4,451	476	4,927
大腸がん検診	5,095	551	5,646
子宮がん検診	1,619		1,619
乳がん検診	1,977		1,977
前立腺がん検診	2,963	362	3,325
腹部超音波健診	5,236	557	5,793
骨密度測定検診	2,221		2,221

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター 4,624人、附属あおもり人間ドックセンター843人、附属あおもり健康管理センター13,411人、計18,878人実施し、前年度19,223人より345人減少となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合計
結核検診	4,329	837	13,362	18,528
胃がん検診	2,762	707	10,339	13,808
大腸がん検診	3,833	803	12,710	17,346
子宮がん検診	246		824	1,070
乳がん検診	193		670	863
腹部超音波健診（付加）	65	50	226	341

(5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）44,142人、事業所 67,884人、学校関係 18,935人（高校生 10,073人、大学生 7,802人、その他 1,060人）施設 10,076人、計 141,037人で、前年度よりも 6,385人の減少となった。

なお、受診者 141,037人中 1.6%の 2,324人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	41,378	297	0.7	630	66
	事業所	33,617	472	1.4	696	90
	学校関係	18,885	140	0.7		
	施設	10,076	814	8.1		
	小計	103,956	1,723	1.7	1,326	78
センター	市町村	2,764	0	0.0	67	41
	事業所	13,504	231	1.7	225	60
	学校関係	50	0	0.0		
	施設	0	0	0.0		
	小計	16,318	231	1.4	292	56
健管センター	事業所	20,763	370	1.8	341	61
合計	市町村	44,142	297	0.7	697	63
	事業所	67,884	1,073	1.6	1,262	77
	学校関係	18,935	140	0.7		
	施設	10,076	814	8.1		
			141,037	2,324	1.6	1,959

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 56,159人、事業所 22,857人、事業所(C T) 567人の計 79,583人で、2.4%に当る 1,877人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 831人、事業所 1,158人の計1,989人で、その 0.4%に当る 7人が要精検となった。

肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	51,632	1,327	2.6	597	86
		事業所	14,907	198	1.3	262	57
		小計	66,539	1,525	2.3	859	77
	センター	市町村	4,527	138	3.0	67	68
		事業所	2,425	36	1.5	169	14
		小計	6,952	174	2.5	236	29
	ドックセンター	事業所	4,691	87	1.9	213	22
	健管センター	事業所	834	11	1.3	196	4
		市町村	56,159	1,465	2.6	664	85
		事業所	22,857	332	1.5	840	27
		小計	79,016	1,797	2.3	1,504	53

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	543	69	12.7	192	3	
		事業所(二次)	24	11	45.8			
	小 計	567	80	14.1				
X線撮影		市町村	56,159	1,465	2.6	664	85	
		事業所	23,424	412	1.8	1032	23	
		合計	79,583	1,877	2.4	1,696	47	
喀痰検査		出張検診	市町村	816	3	0.4	597	1
			事業所	453	2	0.4	262	2
			小 計	1,269	5	0.4	859	1
		センター	市町村	15	0	0.0	67	0
			事業所	120	1	0.8	169	1
			小 計	135	1	0.7	236	1
		ドックセンター	事業所	443	1	0.2	170	3
		健管センター	事業所	142	0	0.0	94	2
		合計	市町村	831	3	0.4	664	1
			事業所	1,158	4	0.3	695	2
			合計	1,989	7	0.4	1,359	1

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 35,730人、事業所 31,149人の計 66,879人で、6.5%に当る4,325人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	33,438	2,397	7.2	1,005	33
		事業所	9,170	491	5.4	340	27
		小 計	42,608	2,888	6.8	1,345	32
	センター	市町村	2,292	179	7.8	127	18
		事業所	5,747	370	6.4	407	14
		小 計	8,039	549	6.8	534	15
	ドックセンター	事業所	3,212	146	4.5	214	15
	健管センター	事業所	11,781	644	5.5	336	35
	合 計	市町村	35,730	2,576	7.2	1,132	32
		事業所	29,910	1,651	5.5	1,297	23
			65,640	4,227	6.4	2,429	27
	内視鏡検査(ドックセンター)		事業所	1,239	98	7.9	210
合 計		市町村	35,730	2,576	7.2	1,132	32
		事業所	31,149	1,749	5.6	1,507	21
			66,879	4,325	6.5	2,639	25

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 56,113人、事業所 38,693人の計 94,806人で、5.2%に当る4,943人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	51,857	3,051	5.9
	事業所	11,630	484	4.2
	小計	63,487	3,535	5.6
センター	市町村	4,256	225	5.3
	事業所	7,451	296	4.0
	小計	11,707	521	4.5
ドックセンター	事業所	5,066	204	4.0
健管センター	事業所	14,517	678	4.7
合計(便潜血検査)	市町村	56,113	3,276	5.8
	事業所	38,664	1,662	4.3
		94,777	4,938	5.2
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	29	5	17.2
合計	市町村	56,113	3,276	5.8
	事業所	38,693	1,667	4.3
		94,806	4,943	5.2

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 30,513人、事業所 4,631人の計 35,144人で、受診者の 1.9%に当る 658人が要精検となった。

子宮体がん検診は、頸がん検診受診者 35,144人の 0.3%に当る 103人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	14,700	174	1.2	272	54
	事業所	479	6	1.3	23	21
	小計	15,179	180	1.2	295	51
センター	市町村	1,568	18	1.1	59	27
	事業所	1,266	24	1.9	16	79
	小計	2,834	42	1.5	75	38
ドックセンター	事業所	1,619	32	2.0	105	15
健管センター	事業所	1,267	34	2.7	41	31
日母検診	市町村	14,245	370	2.6		
合計	市町村	30,513	562	1.8	331	
	事業所	4,631	96	2.1	185	
		35,144	658	1.9	516	

2) 子宮体がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	8	0	0.0
日母検診	市町村	95	0	0.0
合計	市町村	103	0	0.0

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 16,495人、事業所 4,196人の計 20,691人で、5.0%に当る1,041人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
出張健診	市町村	X線	14,618	686	4.7	275	53
		X線	314	17	5.4	10	31
	計	14,932	703	4.7	285	52	
センター	市町村	X線	1,877	109	5.8	59	32
		X線	800	64	8.0	16	50
	計	2,677	173	6.5	75	36	
ドックセンター	事業所	超音波	486	15	3.1	126	超音波
		X線	35	1	2.9		15
		超音波+X線	1,456	86	5.9		X線
		計	1,977	102	5.2		12
健管センター	事業所	X線	1,105	63	5.7	117	9
合計	市町村	X線	16,495	795	4.8	269	超音波
		超音波	486	15	3.1		15
	X線	2,254	145	6.4	X線		
	超音波+X線	1,456	86	5.9	14		
	計	4,196	246	5.9	14		
合計		超音波	486	15	3.1	603	超音波
		X線	18,749	940	5.0		15
		超音波+X線	1,456	86	5.9		X線
		計	20,691	1,041	5.0		34

(11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 9,449人と事業所 9,240人の計 18,689人で、5.5%に当る1,024人が要精検となった。

前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	9,424	667	7.1
	事業所	3,511	162	4.6
	小計	12,935	829	6.4
センター	市町村	25	2	8.0
	事業所	716	37	5.2
	小計	741	39	5.3
ドックセンター	事業所	2,963	80	2.7
健管センター	事業所	2,050	76	3.7
合計	市町村	9,449	669	7.1
	事業所	9,240	355	3.8
		18,689	1,024	5.5

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 10,391人で、要精検は 1.4%の 143人、要観察は 0.6%の 60人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	5,224	63	1.2	25	0.5	88	1.7	65	131
中学校	3,277	40	1.2	20	0.6	60	1.8		
高等学校	1,740	39	2.2	15	0.9	54	3.1	19	92
大 学	150	1	0.7	0	0.0	1	0.7	3	50
合 計	10,391	143	1.4	60	0.6	203	2.0	87	119

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法…………… 市町村(一般住民) 3,325人、事業所 963人、ドック2,221人の計 6,509人で、受診者の 5.9%に当る 385人が要精検となり、13.7%に当る 891人が要指導となった。

イ. 超音波法…………… 市町村(一般住民) 976人、事業所 73人、若年者 341人の計 1,390人で、受診者の 10.4%に当る 145人が要精検となり、28.6%に当る398人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	3,325	290	8.7	627	18.9	917	27.6	121	27
	事業所	963	32	3.3	95	9.9	127	13.2	178	5
	ドック	2,221	63	2.8	169	7.6	232	10.4	188	12
	小計	6,509	385	5.9	891	13.7	1,276	19.6	487	13
超音波法	市町村	976	130	13.3	361	37.0	491	50.3	27	36
	事業所	73	14	19.2	23	31.5	37	50.7	2	37
	若年者	341	1	0.3	14	4.1	15	4.4	4	85
	小計	1,390	145	10.4	398	28.6	543	39.1	33	42
合 計	市町村	4,301	420	9.8	988	23.0	1,408	32.7	148	29
	事業所	1,036	46	4.4	118	11.4	164	15.8	180	6
	ドック	2,221	63	2.8	169	7.6	232	10.4	188	12
	若年者	341	1	0.3	14	4.1	15	4.4	4	85
		7,899	530	6.7	1,289	16.3	1,819	23.0	520	15

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、11,502人に実施し、その9.8%に当る1,127人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	375	57	15.2
	事業所	1,583	87	5.5
	小 計	1,958	144	7.4
センター	市町村	0	—	—
	事業所	749	59	7.9
	小 計	749	59	7.9
ドックセンター	事業所	5,236	470	9.0
健管センター	事業所	3,559	454	12.8
合 計	市町村	375	57	15.2
	事業所	11,127	1,070	9.6
		11,502	1,127	9.8

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。
受診者は、動機づけ支援 1,148人、積極的支援 1,029人の計 2,177人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	418	157	575
社保等	730	872	1,602
合 計	1,148	1,029	2,177

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 25,452件実施し、前年度よりも 754件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	87	1,444	19,576	31	21,138
	体 部	51	136	3,486	167	3,840
	そ の 他	2	10	60	11	83
	小 計	140	1,590	23,122	209	25,061
呼吸器科	喀 痰	1	2	53	39	95
	気 管 支	36	3	54	2	95
	小 計	37	5	107	41	190
体 腔 液	腹 水	7	0	10	0	17
	胸 水	14	5	17	1	37
	小 計	21	5	27	1	54

その他	泌尿器	4	6	114	11	135
	乳腺	0	0	0	0	0
	甲状腺	0	1	0	0	1
	消化器	0	0	0	1	1
	その他	1	0	9	0	10
	小計	5	7	123	12	147
合計		203	1,607	23,379	263	25,452
前年度		140	1,734	24,021	311	26,206

第3 県からの委託事業の実施

令和2年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (3) 乳がん検診従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 (年1回)
中止

第4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり（平内町、東通村）、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,000部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。
- がん征圧月間 (9月1日～9月30日)
- 結核予防週間 (9月24日～9月30日)
- 生活習慣病予防月間 (2月1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。(令和2年度は健康まつり1件の実施)
- (3) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として例年参加していた「RABまつり」が中止となった。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に開催していた研修会を中止とした。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

(1) 複十字シール運動街頭募金を結核予防週間期間にあわせて9月20日に青森市内1ヶ所で実施した。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

新型コロナウイルスの感染拡大により、総会並びに研修会を中止とした。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|------------|
| (1) 運動期間 | 令和2年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3,500,000円 |
| (3) 募金額 | 1,563,905円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 運動期間 | 令和2年9月～3年3月 |
| (2) 目標額 | 2,000,000円 |
| (3) 募金額 | 1,985,842円 |

個人会員(206人) 985,842円、法人会員(83法人) 1,000,000円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 令和2年6月5日 | 決算の確定を目的 |
| 令和2年6月23日 | 役員理事の選定を目的 |
| 令和3年3月5日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的 |

2 評議員会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 令和2年6月23日 | 決算の確定を目的 |
| 令和3年3月23日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的 |

3 評議員選定委員会

- | | |
|-----------|-----------|
| 令和2年6月26日 | 評議員の選任を目的 |
|-----------|-----------|

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	書面開催
前立腺がん検診精度管理委員会	書面開催
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	書面開催
特定健康診査等判定検討委員会	書面開催

胃がん検診読影委員会	書面開催
腹部超音波健診読影委員会	書面開催
子宮がん検診管理指導委員会	書面開催
大腸がん検診指導管理委員会	書面開催
健診従事看護師研修会	中止
循環器健診従事医師打合せ会議	中止
肺がん検診読影委員会	書面開催

2 県外の会議等

(1) 結核予防会関係

結核予防全国大会	(東京都) 3/2オンライン開催
事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議	(東京都) 中止
東北・北海道ブロック会議	(北海道) 書面開催

(2) 日本対がん協会関係

がん征圧全国大会	9/18 オンライン開催
全国事務局長会議	(東京都) 中止
東北・北海道ブロック会議	(福島県) 中止

第9 主たる学会の参加

日本消化器がん検診学会	(福岡県) Web開催
日本消化器がん検診学会東北地方会	(青森県) オンライン開催
東北地区集検放射線技術部会	(秋田県) 中止
日本乳癌検診学会	(宮城県) オンライン開催
日本臨床細胞学会 (春期大会)	Web開催
日本臨床細胞学会 (秋期大会)	(神奈川県) Web開催
細胞検査士教育セミナー	(東京都) Web開催
日本超音波医学会東北地方会	(秋田県) Web開催